

授業科目	*栄養教育論Ⅱ				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	永原 真奈見										
授業概要	<p>効果的な栄養教育を行うためには、対象者の栄養状態の特徴を正しく把握し、問題点を抽出して適正な行動変容を支援することが重要である。</p> <p>本講義では、各ライフステージや健康状態に応じた栄養教育の特徴や課題、国や自治体における健康づくりの制度及び施策について解説する。</p>										
授業形態	講義, 演習	授業方法	アクティブラーニング（グループワーク, 発表）を含む								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. ライフステージ及びライフスタイルに応じた栄養・健康の特徴について説明できる。(DP1-1, DP1-2, DP2-1)</p> <p>2. ライフステージ及びライフスタイルに応じた栄養・健康の課題について説明できる。(DP3-1, DP4-1, DP4-2, DP5-1)</p> <p>3. 栄養教育に関連する法律や国の施策について説明できる。(DP1-2, DP2-1)</p>										
理想的レベル	標準的レベル1～3の全てを達成したうえで、栄養教育の実施に応用することができる。(DP4-2, DP5-1)										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	60%										
小テスト	20%										
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%										
レポート外の提出物	10%										
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT21702J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
<p>予習：テーマに該当する箇所の教科書を読み、まとめる。</p> <p>復習：講義で示された内容について、関心のある点や疑問点を掘り下げて調べ、重点事項をまとめる。</p>										4	
授業計画											
第1回	<p>テーマ：妊娠・授乳期の栄養教育</p> <p>・妊娠・授乳期の栄養・健康の特徴について解説する。</p>										
第2回	<p>テーマ：妊娠・授乳期の栄養教育</p> <p>・妊娠・授乳期の栄養・健康の課題について解説する。</p>										
第3回	<p>テーマ：乳・幼児期の栄養教育</p>										

	・乳・幼児期の栄養・健康の特徴について解説する。
第4回	テーマ：乳・幼児期の栄養教育 ・乳・幼児期の栄養・健康の課題について解説する。
第5回	テーマ：学童期の栄養教育 ・学童期の栄養・健康の特徴と課題について解説する。
第6回	テーマ：学童期の栄養教育 ・栄養教諭制度について解説する。
第7回	テーマ：思春期の栄養教育 ・思春期の栄養・健康の特徴について解説する。
第8回	テーマ：思春期の栄養教育 ・思春期の栄養・健康の課題について解説する。
第9回	テーマ：成人期の栄養教育 ・成人期の栄養・健康の特徴と課題について解説する。
第10回	テーマ：成人期の栄養教育 ・特定健康診査・特定保健指導について解説する。
第11回	テーマ：高齢期の栄養教育 ・高齢期の栄養・健康の特徴について解説する。
第12回	テーマ：高齢期の栄養教育 ・高齢期の栄養・健康の課題について解説する。
第13回	テーマ：障がい者の栄養教育 ・障がい者の栄養・健康の特徴と課題について解説する。
第14回	テーマ：アスリートの栄養教育 ・アスリートの栄養教育の特徴と課題について解説する。
第15回	テーマ：栄養教育論Ⅱのまとめ ・栄養教育論Ⅱの重点項目を解説する。
テキスト	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（監修）：「栄養教育論(改訂第5版)（健康・栄養科学シリーズ）」（南江堂）
参考図書・教材 ／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：特定非営利活動法人日本栄養改善学会 監修 武見ゆかり・赤松理恵 編 「栄養教育論 理論と実践」（医歯薬出版） データベース：厚生労働省ホームページ、文部科学省ホームページ、農林水産省ホームページ、日本栄養士会ホームページ
課題に対するフィードバックの方法	ワークシート等の提出物はコメントを添えて返却、小テストは採点後に返却します。

学生への
メッセー
ジ・コメ
ント

栄養教育を実施するには、多くの知識と技術が必要となります。栄養教育論Ⅰで学んだ栄養教育を実施するために必要な知識や技術について、また他の科目で学んだライフステージ別の特性について復習して臨みましょう。